

新規就農者の地野菜生産を中核にした 就農支援事業 報告



今年度、村では村民を対象として下記地野菜の栽培講習会を開催しました。

- 水稻栽培（栽培講習全7回 延べ73名）
- 王滝かぶ栽培（ 〃全7回 延べ87名）
- そば栽培（ 〃全2回 延べ13名）
- 草刈機運転講習（ 〃全2回 延べ17名）

新規就農者の地野菜生産を中核にした就農支援事業詳細

事業目的

近年、王滝村の人口が減少し、農業の中核を担っていた方の高齢化が進む中、少しずつ地野菜の生産体制が弱まり始めています。昔から観光客に喜ばれてきた村の特産品の作付面積・収穫量が、10年前に比べると軒並み半減している状況でもあります。このままでは、長野県の伝統野菜である王滝かぶが、原産地の王滝村から姿を消し、地野菜等を楽しみに訪れている観光客へ、十分なおもてなしができなくなることも心配されます。

そこで、これまで村の農業の中心的役割を担ってきた農業者が、まだ営農できるうちに、その技能をIターン等で定住された若者に受け継ぐ機会として、高齢農業者と若者の共同営農作業を推進しました。また、表紙の3品目については、それぞれに農作業機械を導入し、労力の省力化や営農初心者の負担軽減を図り、更には村内の多くの高齢農業者へ向けた受託農作業を供給できるよう、各種農作業機械運転講習会を開催しました。そして、若者や定年退職者の新規就農を促進することにより、地域の農作業受託組織の再編に取り組みました。（合わせて、今後の王滝かぶ生産を守るため、愛知県からの観光客等による収穫体験型農業を試験的に行い、収穫作業における労力の補填を検討する中で、地野菜の収穫体験を通じた交流人口の増加にも取り組みました。）

令和元年12月1日 王滝村役場経済産業課